

1. 研究課題名：「いぶき」観測データ解析により得られた温室効果ガス濃度の高精度化に関する研究

2. 研究代表者氏名及び所属：

森野 勇

((独)国立環境研究所 地球環境研究センター)



3. 研究実施期間：平成 23～25 年度

4. 研究の趣旨・概要

「いぶき」は我が国が打ち上げた温室効果ガスを主対象とする世界初の地球観測衛星である。衛星搭載観測装置の校正、データ解析アルゴリズム改良、温室効果ガスの初期検証が行われ、温室効果ガス濃度データは一般に公開されたが、科学的利用のために更なる高精度化が必要である。

本研究は、3 年以上継続的に取得した検証データ、重点サイトで取得した多種多様な検証データによる検証と誤差要因の特定を行う。これを基に解析アルゴリズム改良を行い、「いぶき」観測データの解析により得られた温室効果ガス濃度の高精度化を行う。

この結果、インバースモデル解析による温室効果ガス収支を含む科学的利用が促進され、将来の炭素収支予測の高精度化の貢献が期待される。

5. 研究項目及び実施体制

①長期間検証データの評価、「いぶき」データ検証とアルゴリズム改良に関する研究

((独)国立環境研究所)

②重点サイトにおける巻雲・エアロゾル光学特性観測に関する研究

(国土交通省気象庁気象研究所)

③重点サイトにおける高精度温室効果ガス観測に関する研究

((独)宇宙航空研究開発機構)

6. 研究のイメージ

「いぶき」観測データ解析により得られた温室効果ガス濃度の高精度化に関する研究

